

夕刊 磐城時報

行發日十三
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
印刷部 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一月金貳拾錢
廣告料 一行十四字 日五錢
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

一、口腔外科
二、レントゲン科
中野齒科
平市町(電五〇九)
院長 中野 惠次

病む父母を看りつゝ、 干草刈つて国防献金

世に出た 神谷村二面少年の美談

大日本國防婦人會では今事變の國防献金美談集を刊行したが、その中に木縣からたゞ一つ神谷村小學校尋常科六年生二面宣孝君(一四)の美談が掲載されてゐる。宣孝君の兄は下下滿洲國〇部隊に屬し第一線に立つて居り、父は數ヶ月前から病床上に在つて起せず、母はまた殆んど失明に近い眼病に悩まされ、貧乏が如く軍事扶助を受ける慘狀にあるが、赤誠溢るる宣孝少年は偶々陸軍で馬糞として干草を賣上げることを見學校で聞かされ、これならば

自分でも出来る、毎日放課後、父の看病と母の面倒を見る暇に干草を刈り村役場に持参、その代償として五十錢を出されたが固辭して受けず、その上小遣として持つてゐた十錢を合せて國防費に納めた。村長はこれを傳へ聞いて感激し、益々出征兵遺族に力を注ぐに至つたといふのである。尙宣孝少年の母も不自由な眼に拘はらず村で行ふ軍武運長久祈願や出征兵の見送りに一回も欠かしたことがないといふ。

紛争醸す遺家族へは 斷乎恩典を中止

賜金扶助問題に當局の斷

福島縣隊司令部では今事變に遺家族に對しては主務省の方不滅の武勳をたて和平の建設の針により今後昔借なく右恩典の礎石となつた勇士の遺家族に賜下賜中止を行ふことになり、これは特別賜金並に遺族扶助料等の旨近く市町村へ通達することの恩典をめぐる遺族間の紛争に、つぎ先に調停委員制度を設けて市町村と協力し適正な解決を期へつゝあるが中には邪しき輩、利を權に横車を押して恩典の横取りを企てんとする芳しからぬ紛争沙汰も醸されるので、かくの如き大御心に副はぬ事態に有るもの、または紛争の懸念がある

平市の陪審員有資格者は六千三百三十八名で、三十日本年度の候補者左の如く決定した。長島菊苗、鈴木重次郎、水竹猪吉、引地精一、鈴木三郎、

平消防組顧問 新たに四氏任命

平消防組では顧問を増員することになり平署から推薦してゐたが三十日青柳警察部長から左の如く任命された。
萩原義雄、山崎與三郎、矢吹初彌、松本徳一

四倉武道大會

四倉警察署の武道大會は來月十日久の濱小學校で舉行する、種目は柔、剣、弓道、銃劍術

青沼市長へ謝状

武漢三鎮陥落に方特に御電を賜はり恭しく厚く御禮申上候、陣中に明治節を迎へ申候間御安心被下度候

荻州中將

宮本モト、さん外十名は防空訓練参加手當二圓を國防献金として二十九日四倉署に寄託した

四倉納税

四倉町四倉座に開催する納税講演と映畫會プログラム左の如し
思ひ出の丘、涙の騎手、弱虫天國、事變ニヒス

手當を献金

四倉町第三區本道新道通り六群の防火群

ボーナスも國債で

けふ縣から係官が來平
銀行、會社、工場代表と懇談

費消額は辨濟し 會員に迷惑はかけぬ

吉田昌弘父性愛の陳述

石城中小商工互融會の専務理事吉田昌弘(四八)に係る業務上横領事件公判は二十日午前十時から平支部中谷裁判長係り

加藤二等兵曹

英靈故山に還る
津波村上市軍曹加藤英二は十月二十日特別陸戰隊員として威海衛米家北方高地附近で匪賊討伐中爆傷を受け壯烈な戦死をとげたが、二十九日横須賀海兵團で合同葬を執行され英靈は同日故山に還つた

女房斬り公判

双葉郡久の濱町漁夫鈴木惣七(四七)が逃げた妻に未練の出刃で斬つて斬つた殺人未遂事件は豫審終結起訴され十二月十三日午前九時から平支部中谷裁判長、富澤檢事立會の下に開廷する

船中で窒息死

四倉町仲漁業家長谷川長太郎氏所有漁船御静丸乗組漁夫宮城縣宮城郡七ヶ濱村生れ渡邊長三

南洋から

角田氏は元小名濱小學校訓練で若し動物植物學研究家として縣下に知られてゐた、目下南洋艦隊に赴いてゐる、目下南洋艦隊に赴いてゐる、目下南洋艦隊に赴いてゐる

各地農産品展

石城郡、午後一時半開廷、石城郡兩隣護士團與の下に開廷、型兩隣護士から豫審廷に於ける審理を提出、當時の會計村山三郎氏を證人に申請して午後三時半閉廷、次回は未定

天氣豫報

今晩は北西の風晴
明日も同じ

山崎孝之助氏

紙屋呉服店主人
平市二丁目紙屋呉服店主山崎孝之助氏は糖尿病で静養中であつたが二十八日朝六時十五分死去した、享年六十四才、氏は家業の傍ら二丁目區長を勤むる事十二年、市内最古の區長であつた、又町内納稅組合管理者として地元に盡した功績顯著である、葬儀は十二月三日午後一時自宅出棺飯野村谷川瀬浄寺に於て行ふ

魁文堂

代理店
ウエル萬年筆
ムツリリーニペン
ゼネラルカーボン紙

船中窒息死

四倉町仲漁業家長谷川長太郎氏所有漁船御静丸乗組漁夫宮城縣宮城郡七ヶ濱村生れ渡邊長三

南洋から

角田氏は元小名濱小學校訓練で若し動物植物學研究家として縣下に知られてゐた、目下南洋艦隊に赴いてゐる、目下南洋艦隊に赴いてゐる、目下南洋艦隊に赴いてゐる

各地農産品展

石城郡、午後一時半開廷、石城郡兩隣護士團與の下に開廷、型兩隣護士から豫審廷に於ける審理を提出、當時の會計村山三郎氏を證人に申請して午後三時半閉廷、次回は未定

天氣豫報

今晩は北西の風晴
明日も同じ

山崎孝之助氏

紙屋呉服店主人
平市二丁目紙屋呉服店主山崎孝之助氏は糖尿病で静養中であつたが二十八日朝六時十五分死去した、享年六十四才、氏は家業の傍ら二丁目區長を勤むる事十二年、市内最古の區長であつた、又町内納稅組合管理者として地元に盡した功績顯著である、葬儀は十二月三日午後一時自宅出棺飯野村谷川瀬浄寺に於て行ふ

魁文堂

代理店
ウエル萬年筆
ムツリリーニペン
ゼネラルカーボン紙

平局主催 通信利用懇談會

時局關係の通信利用方面を回滯ならしめ、且つ時局關係の進展を速める目的の下に、平郵便局長の指導の下に、平郵便局長懇談會を主催し、時局通信利用懇談會を...

貯金爲替關係

貯蓄銀行の目的達成の爲めに、在の組合又は團體の郵便貯金額を増進して頂きたいこと、或は直接關係を訪問加入を奨め、或は増額方法を懇話し、實績を擧げるやうな協力を求めること、が重要である。

一日一言

野澤 武藏

防空演習後日譚 (一) 折角出動しながら爆弾の投下には運ばない家庭防空隊は、平タラ〜空襲警報中に各々勝手な假裝訓練を行ったもの多かつたが、其町の或る隊がこの假裝訓練で「サア爆弾が落ちた!」と列に整列して、ベケツの傳達だ!と叫ぶを挙げている。現示班が通り...

石炭 コークス 水野石炭店 平白紙町電九九九

徒弟募集 加納活版所

新車の御知らせ 非常時國策に副ひ今般豪華なタイプと素適な乗心地を備へた 新型純國産車一九三八年式トヨタ號を御試乗の上御批判を願ひます

安田生命 日本共立火災 東京動産火災 平代理店 井上貞治郎

根本産科婦人科醫院 本市南町 根本貞次郎 根本貞雄

防空演習後日譚 (二) そのれ瓦斯だ!と用意の砂を掛け群衆を驚かせて水をかけ消し(?)てゐたのがあつた。瓦斯に砂や水はさうしても可笑的、防備訓練が隊長さん、に徹底しないためであるが、長たるものはもう少し研究して、瓦斯には先づ、瓦斯だ!と強く注意を促し、防備の處置を講じさせ、風上へ避難するなどの行動を執るべきではないか。

御知らせ 今般松ヶ岡公園「尼子亭」を引受け割烹御旅館を経営する事になりました。一流の料理人を聘し時節柄格安に皆々様の御口に召すやう精々努力致します。

國策線に沿ふ代用品の國産報國銘仙賣出し 御婚禮衣裳大提供 三井呉服店

吉田眼科醫院 平市紺屋町電話六八番

仙の乾やなぎ 其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛 平市 仙 鈴藏魚店 電話六六二番

高久病院 平市田町(電話五二三番) 院長 高久忠 副院長 赤羽清 藥局長 佐竹菊雄

平病院 元共濟病院跡 電話六四一番 院長 鈴木定藏 副院長 高橋俊幸

北川外科 醫學博士 北川芳夫 平市新川町(電話四六四)

父孝之助儀豫て病氣の處十一月廿九日午前六時十五分死去致候間此段御通知申上候 追而葬送の儀は來る十二月三日午後一時自宅出棺飯野村谷川瀬眞淨寺に於て佛式に依り相營み可申候 昭和十三年十一月廿九日 兩島縣平市二丁目 親戚 崎賢助 同助